

令和5年9月8日

各報道機関文教担当記者 殿

## 金沢大学の超小型衛星が無線局の予備免許を取得！

金沢大学理工研究域先端宇宙理工学研究センター（ARC-SAT）では、金沢大学衛星1号機「X線突発天体監視速報衛星こよう（KOYOH）」（以下、こよう）を開発しています。こようは50kg級超小型衛星であり、X線・ガンマ線の衛星観測による「重力波対応天体の同定」及び「ブラックホール形成メカニズムの研究」を科学観測目的としています。

本日9月8日、北陸総合通信局より人工衛星無線局への予備免許が付与されました。**人工衛星の無線局への予備免許付与は、北陸総合通信局では初めてとなるものです。**予備免許の取得により、金沢大学に設置されている地上局とこようとの間で、無線による通信を行う準備が整ったこととなります。

こようは宇宙航空研究開発機構（JAXA）の革新的衛星技術実証プログラム（革新的衛星技術実証3号機）の実証テーマのひとつ「理工学が融合した超小型衛星システムの開発と重力波天体のX線観測」として選定されており、打ち上げに向けて地上での最終調整を行っているところです。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

■ 研究内容に関すること  
理工研究域電子情報通信学系 教授  
八木谷 聡（やぎたに さとし）  
TEL: 076-234-4858  
E-mail: yagitani@is.t.kanazawa-u.ac.jp

■ 広報担当  
理工系事務部総務課総務係  
廣田 新子（ひろた しんこ）  
TEL: 076-234-6821  
E-mail: s-somu@adm.kanazawa-



令和5年9月8日  
北陸総合通信局

## 金沢大学の超小型衛星の無線局に予備免許 ～北陸総合通信局で初めて人工衛星の無線局に予備免許～

総務省北陸総合通信局（局長 菱田 光洋（ひしだ みつひろ））は、国立大学法人金沢大学（学長 和田 隆志（わだ たかし））から免許申請のあった、人工衛星に搭載される実験試験局及び同局と通信するため地上に設置する実験試験局に対して、本日付で予備免許を付与しました。概要は以下のとおりです。

なお、人工衛星の無線局への予備免許は、北陸総合通信局では初めてとなるものです。

### 【予備免許を付与した無線局の概要】

申請者	国立大学法人金沢大学
無線局の種別	実験試験局2局（人工衛星の局1、地上の局1）
無線局の目的	実験試験用
呼出名称	人工衛星の局：KOYOH 地上の局：金沢大学角間KOYOH地球実験
周波数帯	400MHz帯、3GHz帯、イリジウム衛星との通信波

連絡先：無線通信部無線通信課（陸上関係）  
（担当：橋本<sup>はしもと</sup>、松島<sup>まつしま</sup>）  
電 話：076-233-4480